

令和 6 年度
自己点検・自己評価/学校関係者評価 報告書
(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

令和 7 年 6 月 13 日

専門学校浜松医療学院

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念	令和6年度 重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
【 教育理念 】 学問を通して自己を磨き、豊かな人間性をはぐくみ、優れた感性と理性を養い、新しい時代に求められる医療人を育てる。 【 アドミッションポリシー 】 (教育の理想とする学生像) 1. 学業に対して意欲的・自主的に学べる者 2. 社会の一員として、基本的なルール・マナーを身に付けている者 3. 対人関係を良好に作り出していくコミュニケーション能力がある者 4. 人の痛みや苦しみを理解できる者	【 学生教育の改善 】 ・ 特色ある教育の展開およびカリキュラムの改善により選ばれる学校づくりに取り組む。 ・ 業界・学生のニーズに即した就職指導と支援体制をつくり、専門職内定率を高める。 【 学生募集充足率向上 】 ・ 目標定員確保に向けた募集活動を実践する。 【 計画的学校運営の推進 】 ・ 将来ビジョンを見据えて、第二期中期計画（令和6年度～8年度）初年度の目標達成に向けて活動する。	【 学生教育の改善 】 ・ 特色ある教育とカリキュラム改善＝恒久的課題として取り組みを継続する。 ・ 退学者率：3.4%（0.9%減） ・ 国家試験合格率 鍼灸学科：85.5%（－5.7%） 柔道整復学科：85.7%（－1.0%） ・ 認定試験合格率 アスレティックトレーナー学科 理論試験：76.4%（＋26.4%） 実技試験：未発表※ ※自己点検自己評価実施時点 【 学生募集充足率向上 】 ・ 定員充足率：86.6% 昨年度比－2.7% 【 計画的学校運営の推進 】 ・ 第一期中期計画の総合評価から第二期中期計画を立案して実行する。	【 課 題 】 COVID-19 以降の大きな社会変化は国際紛争や不安定な経済状況等にみられるように世界情勢の変化にまで様相を変えている。引き続き予測困難かつ目まぐるしく変化する未来に適応しながら学校を運営していくことが課題となる。 【 解決方法 】 職員一人ひとりが個々で考えながら、各部署～学校全体に波及する課題解決体制をつくり、多面的に改善活動に取り組む組織作りを継続する。第一期中期計画の活動から得られた結果を踏まえ、新たに計画された第二期の計画を着実に実行する。

【 自己点検・自己評価報告書記載に関する事項 】

教職員 25 名を対象に専門学校等評価基準 Ver.4.0（特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構：学校評価ハンドブックより）における全点検項目についてアンケート調査を実施した。各課題については次年度の改善活動につなげることを目的としてアンケート調査で得られた意見を参考に取り纏めて記載している。

＜ 大項目基準 1 教育理念・目的・育成人材像 ＞

◆点検中項目 1 理念・目的・育成人材像

小項目	自己点検・自己評価	備考
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	本校ホームページにも各項目を記載し、学内外への周知にも努めている。また、アドミッションポリシーを各教室に掲示することで学生全体の目標像として浸透を図っている。	
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学校評価専門部会ならびに教育課程編成専門部会での意見を参考に、教育・指導内容の充実に向けて定期的な協議を実施している。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	教職員ひとりひとりが理念を意識しながら、臨床現場で活かせる現場実習や附帯教育・特別講座の充実を図っている。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療・健康・スポーツ・美容・介護分野で活躍できる人材育成を目標としている。将来構想を具現化する取り組みを確実に進めることが求められる。	

基準 1 大項目総括	学校関係者評価
理念として掲げられている育成人材像である「新しい時代に求められる医療人」は時の流れにより変化するものである。医療技術の進化・発展と臨床現場における DX 化や教育現場における IT 化などを十分に視野に置き、本校における育成人材が国民に求められるものであり続けるよう努めたい。	教育における理念や育成人材像について継続的に学生への浸透を図り、学校と学生の相互努力によって教育の到達目標を達成できるよう、今後も励まれることを期待します。 学生が地域住民に分け隔てなく挨拶する場面が多くみられ、教育成果のひとつであることがうかがえる。

＜ 大項目基準 2 学校運営 ＞

◆点検中項目 2 運営方針

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	前学院長による第一期中期計画の実行とその結果を踏まえ、令和 6 年度から新たに第二期計画を立案して方針を定めた運営に取り組んでいる。	

◆点検中項目 3 事業計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校運営計画の重点目標をベースとして各部署・各学科にて達成に向けて臨んでいる。	

◆点検中項目 4 運営組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	法人は 2 校（本校・富士校）を統括的に運営している。また円滑な組織運営に向けて設置された理事と両校管理職による定例の協議会は学校運営にとって重要となっている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営のための組織整備は法人本部との協議により行っている。また運営組織図を学生便覧にて明示している。	

◆点検中項目 5 人事・給与制度

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	令和 6 年度より新たな就業規程・給与規程の変更が行われている。学校全体での取り組みを結果として示せるよう努めながら、法人への働きかけを通して職員にも明確な理解を得られる制度に発展させたい。	

◆点検中項目 6 意思決定システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学内における意思決定は各種会議（部長会、運営会議、教務委員会）での協議のもと学院長による最終決定がなされている。法人の意思決定は寄付行為により評議員会・理事会で行うことが定められている。	

◆点検中項目 7 情報システム

小項目	自己点検・自己評価	備考
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	法人・学内で共通のグループウェアを使用することにより、学内業務だけでなく、各種申請等も効率化や一元管理化が図られている。今後は日常業務レベルでの DX 化をさらに進めていくことが課題であると認識している。	

基準 2 大項目総括	学校関係者評価
定例開催する協議会は法人本部と設置校の意思疎通と連携の場としての機能を担っている。令和 7 年度より学校法人の寄附行為も変更されるため、さらなる学校運営の円滑化と法人本部との連携体制強化が進むことが期待される。	評価項目に示されるように学校運営は定められた方針に対して綿密な計画と正確な実行が改善の鍵を握っている。また、様々なリスクへの対応・解決が速やかに進む体制を整備すると更に運営の質向上が期待できる。

＜ 大項目基準3 教育活動 ＞

◆点検中項目 8 目標の設定

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程編成部会を設置し、外部委員（公益社団法人理事職）の意見も参考にしながら改善策を検討している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	各学科長が中心となり、学科全体・学年担任との協議により教育の到達目標を定めている。年度末の学生成績評価の結果から翌年度での改善に向けて毎年の見直しを図っている。	

◆点検中項目 9 教育方法・評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育課程編成部会および教務委員会で対応している。学校協会が職能団体からの協力を得ながら国家管轄機関とのカリキュラム変更協議に動いているため引き続き注視をしていく。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成専門部会委員を各公益社団理事職より選任することにより外部の意見反映につとめている。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	新入生の入学前授業からはじまり、各学年次でも職業観を育成する教育内容の充実を図り、3年間を通じて取り組むようにしている。今年度は各学年で行っているキャリア教育イベントの内容改善にも取り組んだ。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-9-4 授業評価を実施しているか	各期（前・後期）にて授業評価アンケートを実施している。実施アンケート結果は教務部・学科長で共有を図り、各専任教員へフィードバックしている。フィードバック後の改善は恒久的な課題として取り組む。	

◆点検中項目 10 成績評価・単位評価等

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・単位認定基準は学生便覧に試験規程として記載している。各定期における学力形成目標達成のため、補習ならびに学力考査を実施している。学生には最後まで諦めない姿勢を持ってもらえるよう取り組んでいる。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	学生の学術発表や各種大会等への参加結果は、校内に掲示物や表彰物展示などで周知している。※日本赤十字社静岡支部の救急法競技会において学内クラブが総合優勝（三連覇）を果たした。	

◆点検中項目 11 資格・免許の取得支持体制

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	本校の教育課程最終目的は国家資格・認定資格の取得であり、明確化されている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	各学年における到達目標を達成し、最終学年（3 年生）では模擬試験と各成績結果による学習指導を実施している。模擬試験成績結果をもとに学生との個別面談を行い、学習の悩みや躓きの把握にも努めている。	

◆点検中項目 12 教員・教員組織

小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	すべての教員および講師は資格・要件を備えている。新規採用等においては管轄機関への資格要件確認を欠かさず行っている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	アンケート回答における昨年度との適性比率（％）において減少がみられる項目となった。日常業務や勤務スケジュールの都合により、思うような研修計画が実行できなかったことが要因であると考えられる。改善に向けて取り組みたい。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員は各学科に配属されて、学科長を中心に組織的に活動している。また、教務部長と学科長で組織される教務委員会での協議により、教員全体で組織的な取り組みを行えるようにしている。	

基準 3 大項目総括	学校関係者評価
学生の教育活動を充実させるについては、教職員の労務管理面が相反する方向に進まないように効率化を図る必要も出てくる。一方の改善により他方にそのしわ寄せが出ないよう、バランスも持った運営と教育活動の改善に努める。	社会が専門学校における職業教育に求めるものが多様化しており、校内のみならず法制度や社会的な対応まで幅広い。 教職員を含めた学校全体の潜在的な負荷が教育面に影響することが無いよう全体の俯瞰によりバランスの崩れを予防してください。

＜ 大項目基準4 学修成果 ＞

◆点検中項目 13 就職率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-13-1 就職率の向上が図られているか	卒業時の就職希望者内定率・就職率は目標値に到達している。 今後も在学期間を通じた横断的キャリア教育の実施により職業観育成と高い就職率の維持に努める。	

◆点検中項目 14 資格・免許の取得率

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	最終学年では総合試験結果に準じた学力対策を実施している。 各学科・学年単位での学力対策も担任が中心となり毎年の改善を試みながら早期に対応するよう努めている。	

◆点検中項目 15 卒業生の社会的

小項目	自己点検・自己評価	備考
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	学内職員に同窓会担当を配置して同窓会活の活性化を通じた卒業生支援に努めている。また、在校時最終学年における入会率の向上にも努めており、卒業生と学校の繋がりを強化するよう活動している。	

基準4 大項目総括	学校関係者評価
学修成果は資格取得率として結果に表れるものであると認識している。 各資格試験の全国平均合格率や同分野の養成校における合格率の比較から本校の教育における学修成果を分析し、具体的目標数値を設定して改良・改善に向けた取り組みを継続する。	学校教育の学習成果は資格取得率・就職率として数字に表れるが、卒業生の社会的評価も職業教育の結果と考えることができる。在学生だけでなく卒業生の活躍も学修成果として捉えながら今後も励まれることを期待する。

＜ 大項目基準5 学生支援 ＞

◆点検中項目 16 就職等進路

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職支援に対して専任教員を担当として設置している。 担当教員の工夫と努力により、卒業時の就職内定率は目標値を達成することができている。	

◆点検中項目 17 中途退学への対応

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の原因となる主要因（学業成績不振）への対策として、試験結果に応じた補習活動を実施している。 また保護者からの支援を得るよう必要に応じて電話連絡や面談も実施している。	

◆点検中項目 18 学生相談

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	各学科担任制を敷き、年度始めの面談から諸問題に関する学生相談を随時行いながら対応している。教員の介入が難しい場合にも、スクールカウンセラーによる「心の相談室」を設置することでバックアップ体制を敷いている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	※留学生の受け入れは現状行っていない。	

◆点検中項目 19 学生生活

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生の就学に関する経済面の相談窓口として、事務部に公的支援制度への対応も含めた担当職員を配置している。 また、本校独自の「学費サポート制度」を設け、学校ホームページにも掲載して支援体制の周知に努めている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	毎年年度始めに学生健康診断を実施している。校医と連携して学生の健康相談に応じる体制を確保している。 令和6年度は全国的にも季節性インフルエンザが流行し、欠席者が増えた時期がみられた。校内における感染拡大には十分に留意しなければならない。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の設置はないが、遠方からの通学や学校近隣でアパート等を借りる場合の定額支援や不動産業者への紹介等の支援を実施している。 ※遠距離通学者サポート制度	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	学友会を中心に教員も協力して各種クラブの課外活動を支援している。学友会活動をサポートする教員も配置して支援に努めており、体育祭や各種イベントの充実にも貢献している。	

◆点検中項目 20 保護者との連携

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	校友会総会・保護者会の開催により連携体制を構築している。 また毎月の学校情報をメールで保護者に配信する取り組みも行っている。出席状況報告や気になる学生保護者への連絡なども教務部全体で取り組んでいる。	

◆点検中項目 21 卒業生・社会人

小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	同窓会を中心に各種講習会・講演会を開催して卒業生の活動を支援している。学内職員に同窓会担当を配置して協力体制を構築している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	産学連携強化のための特別授業や外部実習の取り組みを進めている。 柔道整復学科に引き続き、令和 6 年度は鍼灸学科も外部実習施設における臨床実習に取り組んだ。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	全日制への移行から社会人入学者は減少傾向にある。時間割の工夫や既履修単位の積極的な認定により社会人が働きながら資格を取得できる体制整備に努力している。社会人対象の入学金サポート制度による支援を行っている。	

基準 5 大項目総括	学校関係者評価
学生支援については学業面・心身の健康面・生活面などの多岐にわたる。教務部と事務部を含めた全員体制に保護者や外部有識者（カウンセラー・学校医）も加え、安心して学生が通学できる学校づくりを継続する。	実際の教育に限らず学校生活全般での学生支援も教育の質と考えることが重要である。怠ることなく常に改善意識をもって取り組んでください。

< 大項目基準6 教育環境 >

◆点検中項目 22 施設・設備等

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設・設備のメンテナンスは劣化・破損・故障の状況により順次対応している。令和 6 年度は全館の照明器具を LED 化した。今後も計画的な整備を進めたい。	

◆点検中項目 23 学外実習・インターンシップ等

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	令和 6 年度はあらたに鍼灸学科も外部実習施設における臨床実習に取り組んだ。今後は実習内容の充実に向けても外部実習施設との協力体制を深めていく必要がある。引き続き外部実習指導者と実習施設の確保を継続する。	

◆点検中項目 24 防災・安全管理

小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	毎年秋に全学年を対象とした防災・避難訓練を実施している。 令和 7 年度より学園の防火・防災管理規程が改訂されるため、 学内での防災計画やマニュアルも見直しを行う。学生数に対応 できる災害時の備品保管スペースの確保は課題である。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	複数教員での実技授業や助手を配置することで安全管理に 努めている。また保険による学生 24 時間サポートを取り入れて 学生に予期せぬトラブルがあった場合の支援ができるように している。	

基準 6 大項目総括	学校関係者評価
年度の学校予算を効率的に分配して施設・設備の修繕・改修に努めている。 開校より 24 年が経過していることもあり、施設設備の突発的な故障の発生も 視野に置きながら次年度も計画的な施設・設備の修繕・改修に努める。	近年、地震・豪雨等による災害が増えている。防災体制を強化して平時より 災害への備えだけでなく、学校全体で防災意識を高めていくよう努めてく ださい。 教育環境の整備についても引き続き期待いたします。

＜ 基準 7 学生の募集と受入れ ＞

◆点検中項目 25 学生募集と受入れ

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	入試広報課職員の各高校進路課への定期訪問や高校教員対象の学校説明会の実施により本校教育活動の情報提供を行っている。また本校に入学した学生の近況報告にも努めている。中学生への職業教育・上級学校教育にも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	事務部に入試広報課を配置して計画的に学生募集に取り組んでいる。前学院長の指揮のもと取り組んだ「全教職員の一致協力による募集活動」への意識は定着しつつあり、今後はさらなる教育の魅力向上にむけた活動にも取り組む。	

◆点検中項目 26 入学選考

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	本校の入学選考基準は、募集要項に明記されている。またオープンキャンパスにおいて募集概要と入学選考について説明している。より適正な運を目標に入学希望者だけでなく、高校進路課への選考基準周知にも力を入れたい。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	高校新卒入学内定者への入学前授業を実施しており、選考実績と合わせて入学内定者の状況把握に努めている。また、入学後の早い時期に個別面談を実施することで、各学生の学習に関する意識の確認にも努めている。	

◆点検中項目 27 学納金

小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	学納金に関する変更はなく、学納金に関する記載は募集要項・学生便覧・ホームページを通じて周知に努めている。 物価高騰に歯止めがかからない状況において、教育活動と経費のバランスを適正化すべく、学納金の変更を議論する時期にきている。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者の納付金返還は入試要項に記載して明確に実施している。	

基準 7 大項目総括	学校関係者評価
COVID-19 に端を発した社会状況の変化に加え、国際紛争や貿易問題により世界情勢は安定していない。国内における少子化（18 歳人口減少）と相まって高等教育機関における専門学校の学生募集はさらに厳しさを増す傾向にあるため、これまで以上の自助努力と堅実な学校運営に心掛ける。	厳しい環境下において学生募集に尽力されていることに敬意を表します。 入学選考基準・経費等も時代にあわせて適切に変化・運用することを目指してください。

＜ 大項目基準 8 財務 ＞

◆点検中項目 28 財務基盤

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	法人運営については評議員会・理事会により定期的に確認がなされている。定例開催される協議会においても常時財務状況を注視しており、長期的な財務基盤の安定化を目標に活動している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	法人本部および理事会に加え、定例開催される協議会においての分析が行われている。学内での財務分析は学院長が中心となり、部長会・事務部で執り行っている。	

◆点検中項目 29 予算・収支計画

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	令和 6 年度より法人本部主導による学園設置校合同の定期的な会計勉強会が実施されている。学校予算に基づく教育活動の充実に向けて計画的な実行に努める。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算計画は法人本部が行う学校へのヒアリングをもとに最終決定されている。確定した年度予算を事務部が中心となり執行管理している。事務部と法人本部との綿密な連携により管理ができています。	

◆点検中項目 30 監査

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	会計監査は理事会にて監事が適切に実行している。	

◆点検中項目 31 財務情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務情報をホームページ上で公開している。 私立学校法の改正に伴い、学園の寄附行為も改定されるため、学校も変更点を把握してしっかりと対応して行きたい。	

基準 8 大項目総括	学校関係者評価
財務基盤安定化は教育活動の改善・充実の根幹となる。法人本部と学校との定例協議の場も連携強化への効果を示しており、引き続き学校としての役割を十分に果たすことができるようにして取り組む。	今後も更なる財務基盤の安定に向けて、適切な予算編成・執行・監査の継続に取り組んでください。

＜ 基準9 法令等の遵守 ＞

◆点検中項目 32 関係法令・設置基準等の遵守

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	学校教育法・専修学校設置基準・各種養成施設指定規則・関係法令を遵守し、適切に運営されている。	

◆点検中項目 33 個人情報保護

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	事務局・電算管理室を中心に個人情報保護対策に努めている。 学生便覧内に利用目的の達成に必要な範囲を超えた取り扱い はしないことを明記している。	

◆点検中項目 34 学校評価

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価体制は整備されているが、より良い改善活動为目标に 全職員参加型の体制構築に向けて取り組みたい。 将来的な第三者評価の導入に向けて、学校職員全体に評価に 基づく学校教育・運営改善活動への意識を浸透させたい。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上 で公開している。	

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	外部委員（卒業生・各業団関係者・有識者）による学校評価専門部会を開催し、学校関係者評価を行っている。 管轄となる静岡県より外部委員の幅を広げるとなお良いという提案をもらっており、次年度はそこに取り組みたい。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	自己点検・自己評価・学校関係者報告書を学校ホームページ上で公開している。	

◆点検中項目 35 教育情報の公開

小項目	自己点検・自己評価	備考
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育活動における取り組みや情報は、入試広報課により本校ホームページ上や各種ネットワークサービスを通じて積極的な公開に努めている。	

基準 9 大項目総括	学校関係者評価
学校全体を通して法令等遵守に努めており、職員全体でもその意識は高く持って教育活動に臨んでいる。また職業実践専門課程の認定校としての情報開示にも努めている。今後の高等教育機関に求められる第三者評価に対応できるよう学内で評価・改善に関する意識向上は課題である。	引き続き各種法制度の遵守に努めてください。

＜ 大項目基準 10 社会貢献・地域貢献 ＞

◆点検中項目 36 社会貢献・地域貢献

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域社会貢献活動については、地元の中学校～高校のキャリア教育活動への協力に始まり、地域行事に関する本校施設および駐車場貸出などにも協力している。	
小項目	自己点検・自己評価	備考
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	取得する資格特性もあり国際交流はなかなか行うことが困難である。	

◆点検中項目 37 ボランティア活動

小項目	自己点検・自己評価	備考
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	令和 6 年度は外部より依頼のあったボランティア活動について積極的に学生への案内と奨励することに努めた。昨年度よりも自主的にボランティア活動に参加する学生が増えたことは良い収穫のひとつであったといえる。	

基準 10 大項目総括	学校関係者評価
社会貢献、地域貢献は学校として恒久的に取り組んでいくべきものである。教育分野（小・中・高）への対応は常に取り組めているので、社会・地域に広げられるよう努めたい。	学校としての社会貢献のみならず、学生が社会貢献に対する自主性が磨かれる教育・指導も期待したい。

最終更新日付	令和 7 年 6 月 13 日	記載責任者	鈴木 康仁
--------	-----------------	-------	-------